

事務事業名		初午祭交通安全対策支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	商工課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	商工振興係	担当課長名	木村 晴一	
	施策	2 まちなかの活性化と公共交通網の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 地域市街地拠点(田沼駅・葛生駅周辺)の活性化の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10592	一般	7	1	2	初午祭交通安全対策支援事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業			市単独事業			
	事業区分		任意的事業・義務的事業		任意的事業			任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S51年度～ 年度		根拠法令 条例等	実施方法		直営			
	事業区分		事業分類		支援事業			支援事業			
	事業区分		リーディングプロジェクト		該当なし			該当なし			
	事業区分		市長マニフェスト		該当なし			該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>旧暦2月の初午に近い金・土・日曜日に開催される初午祭りを安全に行うため、田沼初午祭交通安全実行委員会(佐野市あそ商工会、一瓶塚稲荷神社、周辺町会、商店街、佐野警察署などで構成、佐野市あそ商工会が事務局)の活動を支援する事業である。</li> <li>田沼初午祭交通安全実行委員会は、初午祭りの開催について、広報活動や当日の交通整理等を行っている。</li> <li>市の取り組みは、実行委員会に対する交付金支出、近隣市営駐車場の無料開放等を実施</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>田沼初午祭り 平成27年3月6日(金)～8日(日)に一瓶塚稲荷神社及び周辺で開催</li> <li>市の取り組みとしては、田沼初午祭交通安全実行委員会に交付金300千円を交付、近隣市営駐車場の無料開放を行った。</li> </ul>							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			交付金支出回数	回	1	1	1	1	1	1
			広報さの記事掲載回数	回	1	1	1	1	1	1
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
初午祭り			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
【交付対象団体】田沼初午祭交通安全実行委員会			初午祭り開催日数	日	3	3	3	3	3	3
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
実行委員会に交付金を交付することで、初午祭りの事業の円滑・充実化、無事故の運営が図られる。			初午祭り来場者数	人	47,000	49,000	40,000	40,000	40,000	40,000
			会場内・付近での事故発生件数	件	0	0	0	0	0	0
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
賑わいのあるまちなかになっている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			イベントの参加人数	人	80,500	86,300	62,000	65,000	68,000	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	300	300	300	300	300			
	事業費計(A)	千円	300	300	300	300	300			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			交付金	300	交付金	300	交付金	300	交付金	300
	人件	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
のべ業務時間	時間	50	50	50	50	50				
人件費計(B)	千円	195	197	197	197	197				
トータルコスト(A)+(B)	千円	495	497	497	497	497				

事務事業名	初午祭交通安全対策支援事業	担当部	産業文化部	担当課	商工課	担当係	商工振興係
-------	---------------	-----	-------	-----	-----	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	旧田沼町において、初午祭りを円滑かつ安全に開催するため、田沼初午祭交通安全実行委員会を組織化したことにより、平成8年から事業を実施している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	歴史と伝統のある行事として、市民の間では定着している。政策体系上ではこの祭りを中心市街地の活性化に結び付けている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成23年2月補助金等交付検討委員会から、「祭りの安全な開催、活性化に貢献しており、交付は妥当である。」と提言を受けた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	平成26年度は改革改善の取り組みは特に実施していない。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	歴史と伝統ある初午祭りを支援し、祭りの円滑・充実化や無事故の運営に貢献することは、来場者の増加につながり、まちなかの活性化に結びつくものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案	事業主体は田沼初午祭交通安全実行委員会である。市としては、財政・広報活動支援を実施しているが、まちなか活性化に資する事業のため、現状の関与は妥当なものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事業は、財政支援や広報活動支援を行うことで、まつり内容の充実・円滑化、無事故の運営という目的で実施している事業のため、対象・意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	来場者数は横ばいの状況で推移している。来場者を増やす取り組みも必要であるが、現状では成果向上は難しい。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費については、実行委員会に対する交付金のみである。実行委員会として財源確保や市に頼らない運営を実施しているため、現状では交付金削減は難しい。人件費は、実行委員会に対する交付金支出、広報活動、会議出席のための業務所要時間であるが、最低限の時間のため、削減は難しい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	この事業の直接の受益者は、田沼初午祭交通安全実行委員会であるが、間接的には初午祭りに参加する市民である。そのため、受益者は特定されないため、受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
初午祭りの運営に際し、市の支援が必要なくなれば、本事業も終了となる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																							
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			